

J.TEST

实用日语考试对策

语法·词汇·读解

E~F级(初·中级) / A~D级(中·高级)

主编/林忠鹏 太文慧 审定/比留间朋子 鱼住供子



大连理工大学出版社

J. TEST

实用日语考试对策

(语法、词汇、读解)

主 编：林忠鹏 太文慧
副主编：高在学 桂玉植 刘德萍
审 定：比留间朋子 鱼住供子

参编人员：安 徽 比留间朋子 边家胜
崔红花 冯 叶 高在学 郭艳萍
桂玉植 黄雪莲 金英淑 金竹善
李 军 刘德萍 刘 非 刘淑艳
林忠鹏 裴爱善 松尾真澄
太文慧 谢 群 谢忠宇 尹仙花

大连理工大学出版社

© 林忠鹏, 太文慧 2005

图书在版编目 (CIP) 数据

实用日语考试对策 (J. TEST) / 林忠鹏, 太文慧主编. — 大连: 大连理工大学出版社, 2005. 7

ISBN 7-5611-2897-5

I. 实… II. ①林… ②太… III. 日语—水平考试—自学参考资料 IV. H360.42

中国版本图书馆 CIP 数据核字(2005)第 035181 号

大连理工大学出版社出版

地址:大连市凌水河 邮政编码:116024

电话:0411-84708842 传真:0411-84701466 邮购:0411-84707961

E-mail:dutp@dutp.cn URL:http://www.dutp.cn

大连业发印刷有限公司印刷 大连理工大学出版社发行

幅面尺寸:185mm × 260mm 印张:30.5 字数:599千字

印数:1~4000

2005年7月第1版

2005年7月第1次印刷

责任编辑:宋锦绣

责任校对:杜娜

封面设计:宋蕾

定价:39.80元

前 言

本习题集主要是为了通过日语“实用日本語検定 (J. TEST)” (即 J. TEST 网站, www.j-test.com) 以及各种日语过级考试而编写的, 同时也可以作为学习日语初、中、高级过程的练习辅导材料。

目前, 在我国举办的日语考试主要有国际水平考试、专业四、八级考试。由于宣传不够等诸多原因, 日语学习者对 J. TEST 的了解还不十分广泛, 实际上它已经有了十几年的历史。J. TEST 是鉴定日语学习者的实际日语能力的考试, 考试不分级别, 按其实际得分发给不同级别证书, 所以对于考生来说, 每次考试都是一次证实自己实力的机会。J. TEST 诞生于 1991 年, 由东京日本语研究社所属的日本语检定协会创办。其全称为“实用日本語检定试验”, 当初是为了那些要进入日本公司就业的外国人而设立的。由于它能够在 1000 分的范围内对应试者的实际能力做出准确的定位, 所以逐渐被日本企业所承认, 并成为在日本公司就职的权威性考试。

J. TEST 在中国开展虽然才短短几年, 但其发展迅速, 很受各层次日语学习者欢迎。它不同于其他考试之处是, 一年之内给应试者提供多次机会, 考生可不断地提高自己的证书等级。但是, 由于目前在我国开考次数还不多, 尚没有配套的、具有针对性的复习材料和练习系统。考虑到考生们的实际需求, 我们编写组成员经过大量的工作完成了这部习题集。此次首先出版语法、词汇、读解部分, 今后还将完善听解部分, 以满足考生和日语学习者的全面需求。

本习题集的参编人员全部为从事高校日语教学多年的精英及具有丰富的教授外国人日语经验的日本教师。它是日语教学第一线的教学和研究成果的精华, 可以称之为我国日语教学中练习体系的代表性作品, 期望它能够在日语教学和实践发挥其应有的作用。

本习题集读解部分的选材利用了许多反映现代生活的网上、新闻报刊资料, 在出版过程中得到了大连理工大学出版社宋锦绣女士的鼎力协助, 在此一并表示谢意。在编写过程中编写者尽管做了大量的校对工作, 但难免有纰漏之处, 恳请各位同仁批评指正。

编 者

2004 年 5 月 30 日

J. TEST 考试特点

1 更注重实际应用的能力

在日本语能力考试中，听力部分占总分的25%，说得绝对点，假如一个考生在听力测试中一分都没得到，也有可能通过日语能力一级考试。

J. TEST更注重实际应用能力主要表现在两点，第一，大大提高了对听力能力的要求，听解部分的分数占总分的50%，如果口语不过关一定考不出好成绩；第二，考卷中采用大量的当今日本社会在报刊、杂志以及商务上常用的文章和图表，对考生的综合理解能力和实际应用能力的要求大大提高，并可做出客观鉴定。

2 鉴定的范围更广

日本语能力考试分1、2、3、4级，对一级以上便无法做出鉴定。也就是说对中级以上日语人才无法做出客观合理的评价。

J. TEST考试分为中·高级(A~D级)和初·中级(E~F级)两个大级别：

◆A~D级的评价

◇1000分为满分

- 930分(特A级) 一能适应高难度的日语翻译。
 - 900分(A级) 一能适应中等日语翻译。
 - 850分(准A级) 一能适应基础日语翻译。
 - 800分(B级) 一能适应在日本工作。
 - 700分(B级) 一能适应去日本出差，进入日本大学读书
(相当于日语能力1级程度)。
 - 600分(C级) 一能适应去日本出差，简单工作(相当于日语能力2级程度)。
 - 500分(D级) 一懂简单日语。
- (不满500分为不合格，不进行认定)

◆E~F级的评价

◇500分满分

- 350分(E级) 一完成初级日语/去日本旅行的简单会话(相当于日语能力3级程度)。
- 300分(F级) 一完成初级前期日语(相当于日语能力4级程度)。

(不满300分为不合格，不进行认定)

J. TEST 是通过电脑进行评分、总计、分析的,所有参加考试的人员都会收到日方寄出的一份证明日语应用能力的考试“成绩表”,成绩达标者还可以得到相应级别的证书。

3 鉴定的方法更科学合理

由以上可知,*J. TEST* 的中·高级考试采用同一张考卷,考到多少分数,就给什么级的证书,考评的方法更加科学合理。也可避免差几分什么证书也没有的现象。

4 更便于考生的自我鉴定

◆ 出题内容(A~D级)

◇1000分满分(听力500分、阅读·记述500分)

听力问题约45分钟

(1)描写问题 (2)应答问题 (3)会话问题 (4)说明问题

阅读问题80分钟

(5)汉字问题 (6)文字问题 (7)阅读综合问题 (8)记述问题

◆ 出题内容(E~F级)

◇500分满分(听力200分、阅读·记述300分)

听力问题约30分钟

(1)描写问题 (2)应答问题 (3)会话问题 (4)说明问题

阅读问题60分钟

(5)汉字问题 (6)文法问题 (7)阅读综合问题

考试完毕考生可以把考卷带回去,日本*J. TEST* 事务局阅卷后,不仅给出成绩单、证书,还给每位考生一份标准答案,便于考生自我鉴定,明确努力方向。

5 考试频次高

J. TEST 考试比任何一项日语考试的举办频次更高,每年的2月、4月、6月、9月、11月都举办公开考试,考生可以根据实际需要安排自己的参考时间。除了一年五次^五的公开考试,还可以应企业、学校的要求,单独举办团体考试。

6 被称为“日语托业”

积极促进日语中高级人才的就业是*J. TEST* 的又一个特点,故有的媒体称其为“日语托业”考试。如*J. TEST* 中国事务局与中国最大的人力资源公司——上海市对外服务有限公司合作,*J. TEST* 考试成绩优秀者,可得到向用人单位优先推荐的机会,为*J. TEST* 考生搭建了新的就业平台。更由于已多次推荐成功,*J. TEST* 便有了“日语托业”之称。

实用日语考试对策(J. TEST)

初·中级/E~F级

目 录

模擬テスト	(一)	3
模擬テスト	(二)	8
模擬テスト	(三)	14
模擬テスト	(四)	20
模擬テスト	(五)	26
模擬テスト	(六)	32
模擬テスト	(七)	38
模擬テスト	(八)	44
模擬テスト	(九)	50
模擬テスト	(十)	56
模擬テスト	(十一)	62
模擬テスト	(十二)	67
模擬テスト	(十三)	72
模擬テスト	(十四)	77
模擬テスト	(十五)	83
模擬テスト	(十六)	89
模擬テスト	(十七)	95
模擬テスト	(十八)	101
模擬テスト	(十九)	108
模擬テスト	(二十)	114
模擬テスト	(二十一)	120
模擬テスト	(二十二)	126
模擬テスト	(二十三)	132
模擬テスト	(二十四)	138
模擬テスト	(二十五)	144
模擬テスト	(二十六)	150
模擬テスト	(二十七)	155
模擬テスト	(二十八)	161
模擬テスト	(二十九)	167
模擬テスト	(三十)	173
模擬テスト	(三十一)	179
模擬テスト	(三十二)	185
模擬テスト	(三十三)	191
模擬テスト	(三十四)	197
模擬テスト	(三十五)	203
模擬テスト	正解	453

模 擬 テ ス ト

(一)

I 漢字問題

A 次の漢字の読み方を、それぞれ1・2・3・4の中から一つ選びなさい。

問題1 きょうは四月 二十四日です。

- (1) 四月 1 よつき 2 よんげつ 3 しがつ 4 よんかげつ
(2) 二十四日 1 にじゅうよんにち 2 にじゅうよつか
 3 にじゅうようか 4 にじゅうしにち

問題2 おじいさんはいつも居間でお茶を飲みます。

- (3) 居間 1 へや 2 だいどころ 3 あいだ 4 いま
(4) 茶 1 ちゃ 2 さ 3 ちや 4 かし
(5) 飲みます 1 よみます 2 のみます 3 なやみます 4 やみます

問題3 セーターの売り場に緑色のセーターがあります。

- (6) 売り場 1 いろじょう 2 うりじょう 3 いろば 4 うりば
(7) 緑色 1 みどり 2 みどりいろ 3 りよくしょう 4 りよくじき

問題4 わたしはきのう友達といっしょに野球の試合をみました。

- (8) 友達 1 ともたち 2 ともだち 3 ゆうじん 4 なかま
(9) 野球 1 やきゅう 2 やきゅ 3 のはら 4 のきゅう
(10) 試合 1 しあい 2 しけん 3 じっけん 4 しごう

B 次のひらがなの漢字を、それぞれ1・2・3・4の中から一つ選びなさい。

問題1 なまえをよびますからへんじをしてください。

- (11) なまえ 1 名字 2 姓 3 氏名 4 名前
(12) よびます 1 読びます 2 呼びます 3 叫びます 4 言びます
(13) へんじ 1 返信 2 回信 3 返事 4 回事

問題2 あなたはどこでどうぶつえんのちずをもらいましたか。

- (14) どうぶつえん 1 植物園 2 動物園 3 遊園地 4 遊覧園
(15) ちず 1 地球 2 辞書 3 地図 4 土図

問題3 きょうはあまりあつくないです。いいおてんきですね。

- (16) あつくない 1 厚くない 2 暑くない 3 熱くない 4 温くない
(17) てんき 1 天気 2 電気 3 人気 4 点気

問題4 なぜですね。いちにちに一回ちゅうしゃしてください。

- (18) かせ 1 風 2 風邪 3 咳 4 咳邪
(19) いちにち 1 一日 2 二日 3 三日 4 四日
(20) ちゅうしゃ 1 点滴 2 葉 3 注文 4 注射

II 文法語彙問題

次の文の () に1・2・3・4の中から最も適当な言葉を入れなさい。

- (21) 王さんはちゅうごくじんです。林さん()ちゅうごくじんです。
1 は 2 が 3 も 4 と
- (22) あそこはえいがかんです()、たいいくかんですか。
1 が 2 か 3 から 4 けど
- (23) きょうは()です。あしたはすいようびです。
1 きんようび 2 もくようび 3 かようび 4 げつようび
- (24) 王さんは山本先生()にほんのれきしを習いました。
1 が 2 で 3 に 4 の
- (25) 机の上にノートがたくさんありますね。()があなたのですか。
1 これ 2 どれ 3 どこ 4 どの
- (26) 花子さん、教室にだれか()。
1 ありますか 2 いますか 3 おりですか 4 おきますか
- (27) 王さんはおととい視聴室で()をしました。
1 ビデオ 2 ほん 3 テープ 4 べんきょう
- (28) 北京から東京まで飛行機で三時間ぐらい()。
1 たちます 2 すごします 3 かかります 4 すわります
- (29) お父さんは毎晩お風呂に()から寝ます。
1 はいて 2 はいって 3 はいた 4 はいった
- (30) わたしはきのう「タイタニック」という映画を見ました。山田さんもあしたその映画を()といました。
1 見る 2 見た 3 見て 4 見たり
- (31) 先生：マリアさんはもう来ましたか。
学生：いいえ、まだ()。
1 来ます 2 来ました 3 来ませんでした 4 来ていません
- (32) 去年の冬はとても()。
1 寒いです 2 寒いでした 3 寒かったです 4 寒でした
- (33) 林さんはさつき花屋で()花を買いました。
1 きれい 2 きれいな 3 きれいで 4 きれいに
- (34) わたしは()時、家でテレビを見たり新聞を読んだりします。
1 ひま 2 ひまだ 3 ひまな 4 ひまの

料理 (B) 紙が用いられ、神聖を表すためにも、子どもたちの遊びにも紙は使われてきた。日本の伝統的なすまいとさまざまな紙の道具から、日本の暮らしと美意識が見えてくる。

(「紙とともに暮らす」 柏木博「につぼにあ」)

(54) (A) に入る言葉はどれですか。

- 1 にとって 2 に関して 3 によって 4 にして

(55) (B) に入る言葉はどれですか。

- 1 には 2 にも 3 でも 4 にまで

問題 4

日本の中でも、特に沖縄県人は長寿 (A) 有名である。(B) 現在、100歳を超える老人は365名で、人口比では全国一多い。長寿の理由は、冬でも温暖な気候、長寿食といわれる野菜や昆布、豚肉などを (C) よく食べる沖縄料理、都会に比べ体を (D) 機会が多いなどがあげられている。

めでたく100歳を迎えた黒島スミさんも、好き嫌いなく食事はきちんと3回食べるとか。竹富島で生まれ、16歳から織物の仕事を始め、98歳まで布を織り続けた働き者である。竹富島の工芸「ミンサー（幅の狭い帯）」の作品は、全国伝統的な工芸品展で賞を受けた腕前。

「毎日、糸を紡（つむ）いでいました。昔は何でも自分で作っていましたよ。朝、畑に行き、井戸（いど）で水を汲んで、薪（まき）を取って、まあ忙しかった。」

長生きの秘訣は、やはりよく食べ、よく働くことにあるようだ。

(「長寿のおばあ 黒島スミさん」 「につぼにあ」)

(56) (A) に入る言葉はどれですか。

- 1 が 2 の 3 で 4 と

(57) 「(B) 現在、100歳を超える老人は365名で、人口比では全国一多い」の意味に一番近いのはどれですか。

- 1 沖縄では100歳を超える老人の数は他の地方より多いです。
2 沖縄より100歳を超える老人の数の多い県はありません。
3 沖縄は全国では100歳を超える老人の人口比の高い県の中の一つである。
4 沖縄は日本で100歳を超える老人の人口比の一番高い県である。

(58) (C) に入る言葉はどれですか。

- 1 ベランダ 2 バランス 3 ピラミッド 4 ベテラン

(59) (D) に入る言葉はどれですか。

- 1 動く 2 動き 3 動かされる 4 動かす

(60) この文章を書いた人の考え方に一番近いものはどれですか。

- 1 長寿になるには、毎日おいしいものをたくさん食べるのが一番大事です。
2 長寿になるには、16歳から98歳まで織物の仕事をし続けるのが最も大切なことです。
3 長寿の秘訣は、暖かい所で栄養の高いものをたくさん食べることです。
4 毎日よく食べることとよく働くことは長寿につながる最も大事な要素です。

(17) さとう 1 佐藤 2 茶道 3 砂糖 4 沙糖

問題4 しんかんせんはさいこう じそく220キロメートルです。

(18) しんかんせん 1 新幹線 2 地下鉄 3 電車 4 心肝線

(19) さいこう 1 再興 2 最高 3 最好 4 最低

(20) じそく 1 時速 2 磁束 3 時差 4 自速

II 文法語彙問題

次の文の () に1・2・3・4の中から最も適当な言葉を入れなさい。

(21) あのきいろいハンドバッグは田中さん()です。

1 が 2 は 3 も 4 の

(22) ジョンさんは先週アメリカ()中国に来ました。

1 で 2 と 3 から 4 まで

(23) 小林さん、おとといは何曜日()。

1 です 2 でした 3 ですか 4 でしたか

(24) 田中さんはきのう風邪を引いて会社()やすみました。

1 が 2 で 3 を 4 より

(25) わたしは毎週家族()電話をかけます。

1 から 2 の 3 に 4 へ

(26) A: あなたはいつも()で日本語の勉強をしますか。

B: わたしはいつも図書館で勉強します。

1 どれ 2 どこ 3 いつ 4 どんな

(27) A: 山田さんのお姉さんは今年おいくつですか。

B: ()です。

1 三十歳 2 教師 3 留学生 4 三人

(28) お寺に白い砂と黒い岩が()。

1 あいます 2 あります 3 います 4 おきます

(29) お父さんはさつきおじさんといっしょにお酒を()に行きました。

1 飲む 2 飲んで 3 飲んだ 4 飲み

(30) 妹は自分のシャツしか()。

1 洗う 2 洗わない 3 洗えない 4 洗える

(31) 妹はいつもご飯を()前にくだものを食べます。

1 食べる 2 食べて 3 食べた 4 食べている

(32) 夏目漱石は日本の()小説家です。

1 有名 2 有名な 3 有名に 4 有名の

(33) わたしはきのう新宿で()映画をみました。

1 おもしろい 2 おもしろいた
3 おもしろかった 4 おもしろ

発案者は大阪府東大阪市で小料理店を営んでいた白石義明（しらいしよしあき）さん。

（「安さと気軽さが受けて世界に羽ばたく日本の伝統食——回転寿司」『につぼにあ』）

(46) (A) に入る言葉はどれですか。

- 1 が 2 は 3 を 4 へ

(47) (B) に入る言葉はどれですか。

- 1 だけ 2 しか 3 きり 4 のみ

(48) 本文の内容と一致しているものはどれですか。

- 1 回転寿司というのは日本にしかないものである。
2 回転寿司は値段が高いため庶民たちにとって非常に贅沢なものだ。
3 白石義明さんは今東大阪市にある小料理店で働いている。
4 回転寿司を発案したのは白石義明さんだ。

問題 2

わたしは三人姉妹の次女だ。小学生の頃、二歳年上の姉と一緒に、ピアノ、絵画、習字、水泳など、いくつも習いごとをしていた。やめたいと思うこともあった。でも、姉には負けたくないと思ったので、習い続けた。姉のことを私のいちばんのライバルだと思っていた。でも、私は、周りの人（ A ）姉と比べられ、「お姉ちゃんはよくできる」とよく言われた。そう言われるのがいちばん嫌だった。私が七歳の時に妹が生まれた。私はみんなと同じように、妹を（ B ）。しかし、実は、新しいライバルの出現に、大変なことになったと思っていた。なぜなら、妹は、（ C ）いるだけで、みんなに注目され、かわいがられたからだ。私はそんな妹がうらやましかった。私には、姉や妹に勝てるものが何もなかった。だから、みんなに嫌われないように、（ D ）「いい子」でいようと思った。その頃から、家でも、学校でも、「いい子」のふりをして過ごすようになった。

学校で「いい子」でいるために必要なものがあつた。それは成績だ。成績が良ければ、先生にほめてもらえる。そして、先生にほめられると、私はもっと「いい子」でいようと思った。

（「写真が教えてくれた本当の私」中才知弥『ひだまり』19号）

(49) (A) に入る言葉はどれですか。

- 1 が 2 は 3 の 4 に

(50) (B) に入る言葉はどれですか。

- 1 かわかった 2 かわいかった 3 かわいがった 4 いじめた

(51) (C) に入る言葉はどれですか。

- 1 たた 2 ただ 3 また 4 まだ